

修理ボランティア活動中



12月の「本の修理実習」で、8の方が製本業者の田中さんから修理の方法を習いました。※本の修理実習2回目を2月10日（金）午後1時～3時に本館で行います。参加者募集中です。問合せは本館まで。

図書館の本は、たくさんの方が利用する中で、傷んでしまうことが多々あります。そんな本を修理するボランティアの「修理の会」が、毎月活動しています。

本の綴じ方の種類などを見ながら、一つ一つ手作業で進めています。ボランティアさんのおかげで、再び貸出できるようになった本もありますので、みなさんも本を大事に扱ってください。

【お願い！】

本のページが破れていても、**テープは絶対にはらないでください！！**

テープをはると変色し、紙を傷めます。修理しにくくなり、はがすのに非常に手間がかかります。

もし破れがあった時は、そのままにして返却するとき、カウンターの職員にお知らせください。

図書館専用の補修テープやのりを使って直します。

職員のおすすめ《この書き手に注目！》

桂 望実

（かつら のぞみ 1965年東京生まれ）
2003年に『死日記』（小学館）でエクスナレッジ社「作家への道！」優秀賞を受賞し、作家デビュー。2005年には『県庁の星』（小学館）が映画化され、ベストセラーになる。

私がおすすめする一冊は『総選挙ホテル』（KADOKAWA）です。

廃業寸前の中堅ホテルを再建すべく社長として就任した大学教授が打ち出した「従業員総選挙」。これは従業員同士が選挙によって部署の配置やリストラを決定するというもの。崖っぷちの投票制度と人材シャッフルに従業員たちが混乱する中、さらに管理職の投票までもが行われ…。ホテルマンとして成長していく従業員たちの、心温まるエンタメお仕事小説です。

選挙の結果如何によっては解雇もやむなし。そんな従業員総選挙が行われれば、ホテル全体が殺伐とするのではとハラハラしながら読み進めました。しかし従業員たちは畑違いの部署で、これまでになかった仕事のやりがいと達成感を見出し、各々がホテルマンとして成長していきます。ホテルの業績も好調になり、読後はとてもさわやかな気持ちになりました。きれいなお話の中に組織の在り方の本質的な部分を的確に捉えている、素敵な小説です。（本館 多賀）

垣谷 美雨

（かきや みう 1959年兵庫県生まれ）
2005年『竜巻ガール』で第27回小説推理新人賞を受賞しデビュー。他の著書に『農ガール、農ライフ』（祥伝社）、『老後の資金がありません』（中央公論社）、『避難所』（新潮社）など。

もしもの世界を表現する「if小説」と言われる作品が多い垣谷さんの今回ご紹介する作品は、『あなたのゼイ肉、落とします』（双葉社）です。

様々な方法でダイエットを試みたが成功しない4人の主人公たちは、大庭小萬里のダイエット本の副題「心のゼイ肉も落とします。」に目が止まり個別指導を受けます。彼女の指導により暗くしていた心のゼイ肉を落とすことで痩せられなかった体も徐々に…。

指導する人とは思えない体型の小萬里のキャラクターが、主人公たちとのやりとりを更におもしろくし、シリアスな問題を小気味よく解決していますので、ダイエットだけでなく人生の指南になるかもしれません。

また、姉妹編として『あなたの人生、片づけます』（双葉社）が出版されています。

（本館 土谷）

分類	書名	著者名	出版者名
情報			
007.3/シ/	超監視社会 すべてがネットにつながる時代、私たちは超監視社会とも呼ぶべき社会を生活している。何気ないネット、スマホ利用から想像を超える情報監視が進む実態を赤裸々に描き、この社会の危うさに警鐘を鳴らす。	ブルース・シュナイアー／著	草思社
019.9/7/	本を読む 本ならなんでもいいから、読むだけで心の中から美しくなれるはずだ。だれも知らない心の中を、美しく装いたい。それは人に知られなくて、いいことなんだと悟りたい。画家であり、ひとりの本好きである著者による読書案内。	安野光雅／著	山川出版社
歴史・地理			
291.5/ト/	東海歴史さんぽ 城下町、宿場町、戦国武将ゆかりの地…。歴史散策を楽しんでみませんか？東海エリアをはじめ、中部圏に点在する“歩きたくなる、歴史の町”を、モデルコースとともに紹介します。		びあ株式会社中部支局
291.5/ギ/	ぎふ峠ものがたり 峠をめぐる時の流れと、連綿と続いてきた人々の営み…。岐阜県の45の峠を訪ねて、昔と今の在りようを探る。担当者が峠の魅力を語る座談会も収録。	岐阜新聞社／編著	岐阜新聞社総合メディア局出版室
社会			
319/ヨ/17	よくわかる世界の紛争 2017 「北朝鮮核実験」「南シナ海問題」「欧州テロ」をはじめ、37の国と地域の紛争・騒乱を、問題の背景を含めてわかりやすく解説。世界に蔓延する危機の深層を読み解く。	毎日新聞外信部／編著	毎日新聞出版
361/ツ/	つながりをリノベーションする時代 当たり前の不安を生きる若者たちはこれまでとは異なるかたちで“社会”という「つながり」を紡ぎ始めたのかもしれない。若者を中心にさまざまな場面で見え始めた「つながり」の創造的な刷新の様相を6つの領域から解き明かす。	田所承己／編	弘文堂
368.6/=/	マンガでわかる!高齢者詐欺対策マニュアル 長年、「なぜ人は簡単にだまされてしまうのか」という視点から心理学を研究してきた西田公昭教授が、高齢者が詐欺被害にあわないための対策をマンガを交えて伝授する。だまされてしまった時、どこに相談すればいいのかも紹介。	西田公昭／著	ディスカヴァー・トゥエンティワン
自然科学・医学			
491.3/シ/	脳はなぜ都合よく記憶するのか 脳は記憶の正確さを犠牲にしてでも、人が創造的に生きることを選んだ。脳が記憶を都合よく作り替えたり、あり得ないし体験もしていない出来事を知っているかのように記憶したりする不思議なメカニズムの存在理由を平易に語る。	ジュリア・ショウ／著	講談社
技術・家政			
576.6/テ/	てづくりお香教室 お香の「知る」「つくる」「使う」楽しみを提案。伝統的な16の香料、気分別・場所別の香りのレシピや、つくりかたの手順をていねいに解説するほか、聞香、香りの歴史も紹介します。	松下恵子／監修	日東書院本社
589.7/=/	日本ゲーム産業史 日本におけるコンピュータゲームの歴史を、「カプコン」「コーエーテクモゲームス」「コナミ」「セガ」といったゲームソフトメーカーのオーナーや開発者、スタッフの言葉と記録によって振り返る。	日経BP社ゲーム産業取材班／著	日経BP社
産業			
615.8/エ/	本当に正しい鳥獣害対策 Q&A 鳥獣害の被害対策にはコツがある。長年、動物の行動研究を行ってきた著者が、被害対策や野生動物についての正しい情報をQ&A方式で伝える。地域で取り組む鳥獣害対策なども紹介する。	江口祐輔／著	誠文堂新光社

673/七/	店長のためのお金の教科書	平林亮子／著	日経 BP 社
	売上と利益を増やし、無駄なコストを減らすには、膨大な「お店の数字」のどこに着目すればよいのか。繁盛店の店長が必ずチェックしている「お店の数字」を公認会計士が一からわかりやすくひもとく。		
芸術、音楽、スポーツ			
748/ネ/	彼らがいなくなる前に	ジミー・ネルソン／写真	パイインターナショナル
	部族の民が減び去る前に、彼らの魂を記録する場所が必要だ。世界各地の少数民族を訪ね、彼らと生活をともにしながら、失われつつある民族の生活や文化を肖像として撮影した「美しい」少数民族写真集。		
762.3/ハ/	葉加瀬太郎の情熱クラシック講座	葉加瀬太郎／著	ローソン HMV エンタテインメント
	トップ・ヴァイオリニスト&人気作曲家にして超クラシックオタクの葉加瀬太郎が、学校では教えてくれないクラシックの本との楽しさを教えます。音楽の歴史、知識、作曲家たちのアツと驚くエピソードを満載！		
778.2/セ/	世界シネマ大事典	フィリップ・ケンブ／責任編集	三省堂
	古今東西の名作映画を網羅した事典。主要作品を映画ジャンルおよび社会・文化の発展という文脈に沿って紹介し、歴史年表では主要な影響と出来事を解説。映画製作の華やかさ、数々の功績、苦難、スターの現実も取り上げる。		
786.1/タ/	再発!それでもわたしは山に登る	田部井淳子／著	文藝春秋
	人生が終わるその時まで、人と山を愛した世界初の女性エベレスト登頂者、田部井淳子。がん闘病中も精力的に活動し、2016年10月20日に亡くなった著者の遺稿集。		
791.5/キ/	茶碗と日本人	吉良文男／著	飛鳥新社
	なぜ日本人だけが「欠けた茶碗」に価値を見出すのか？織田信長が茶道を重視した理由とは？東洋陶磁史研究者による、「やきもの」から見えてくる新しい日本人論。		
日本文学ー詩、小説			
911.1/ニ/	日本人はなぜ、五七五七七の歌を愛してきたのか	錦仁／編	笠間書院
	「万葉集」から今日まで約1300年、日本人は31文字の歌を止めようとしなない。この短い表現形式を愛してやまないのはなぜか。歴史を生き抜く歌の時間軸を太く高い柱として、その折々に生起した和歌のありようを解き明かす。		
913.6/アカ/	鼠、嘘つきは役人の始まり	赤川次郎／著	KADOKAWA
	江戸の闇を闊歩する、粋でいなせな盗賊・鼠小僧次郎吉。最近、巷で話題なのは名与力く鬼の万治郎)だが、その正体は、盗人よりもなお悪い…。「鼠」シリーズ第10弾。		
913.6/アベ/1	家康 1 自立編	安部龍太郎／著	幻冬舎
	今川義元の元で人質として過ごしていた松平元康。桶狭間の戦いで義元が織田信長に討たれると、その混乱に乗じて岡崎城へ入城し今川氏と決別。名を徳川家康と改め、版図を広げていくが…。		
913.6/オン/	七月に流れる花	恩田陸／著	講談社
	鏡の中に不気味な「みどりおとこ」の影を見つけたミチル。手元には夏流域での林間学校への招待状が残されていた。ミチルは5人の少女と、濃い緑色のツタで覆われた古城での共同生活を開始するが…。		
913.6/カド/	屋根をかける人	門井慶喜／著	KADOKAWA
	明治末期に来日したアメリカ人建築家・メルル・ヴォーリズ。華族の娘と結婚後、日米開戦前に日本に帰化し、終戦後は国体護持のために奔走した。「青い目の近江商人」の壮絶な一代記。		
913.6/カネ/	クラウドガール	金原ひとみ／著	朝日新聞出版
	刹那にリアルを感じる美しい妹・杏と、規律正しく行動する聡明な姉の理有。二人が共有する、家族をめぐる秘密とは。スピード感と才気あふれる筆致がもたらす衝撃のラスト。		
913.6/サワ/1	春に散る 上・下	沢木耕太郎／著	朝日新聞出版
	「俺たちにはまだ、やり残したことがある」40年ぶりにアメリカから帰国したひとりの男。かつてボクシングの世界で共に頂点を目指した仲間と再会して…。		

913.6/カカ/	電王	高嶋哲夫／著	幻冬舎
	幼い頃、級友に除け者扱いされる相場と取海を救った将棋。だが三段リーグ最終戦で惜敗した相場は棋界から去った。大人になり、トップ棋士として将棋ソフトと対局することになった取海は…。		
913.6/ナガ/	時が見下ろす町	長岡弘樹／著	祥伝社
	様々に変わりゆく風景の中で、唯一変わらなかった大きな時計が目印の百貨店。その前で繰り広げられてきた、時に哀しく、時に愛しい事件とは？精緻で心温まる連作ミステリー。		
913.6/ヒヤ/	幻庵 上・下	百田尚樹／著	文藝春秋
	幕末前夜、破天荒な夢を持った風雲児がいた。幻庵の前に立ちはだかる数多くの天才たち。男たちの闘いが、いまはじまる！青春歴史小説。		
913.6/ホン/	Good old boys	本多孝好／著	集英社
	弱小少年サッカーチームの子どもたちを支える父親たち。彼らはそれぞれに仕事や家庭の悩みを抱えていた…。8組の父と子の心のふれあいと成長を描く、胸打つ家族小説集。		
913.6/ミヤ/	静かな雨	宮下奈都／著	文藝春秋
	忘れても忘れても、ふたりの世界は失われない。短期間しか新しい記憶を留めておけなくなってしまったこよみと、大学の研究室で働く行助。ふたりの恋を、本屋大賞受賞作家が瑞々しい筆致で紡ぐ。		
913.6/ワタ/	私をくいとめて	綿矢りさ／著	朝日新聞出版
	黒田みつ子、もうすぐ33歳。もう一人の自分「A」に脳内で何でも相談できるから、一人で生きていくことに抵抗はないと思っていたのだが…。同世代の気持ちを描き続けてきた、綿矢りさの真骨頂。		

エッセイ			
914.6/シイ/	かぐや姫はいやな女	椎名誠／著	新潮社
	なぜ、かぐや姫は高慢で、桃太郎は独善的で、饅頭は怖かったのか？なぜ、怒りや汚れは水に流せるのに、流せないモノもあるのか？椎名誠がオトギ話に憤り、酒と旅を語りトイレを憂う、哄笑と郷愁のエッセイ集。		
914.6/ミナ/1	山猫珈琲 上巻	湊かなえ／著	双葉社
	好きなものは「山」と「猫」と「珈琲」。これらのお陰で怒涛の10年を乗り越えることができました。デビューから10年分のエッセイをまとめる。上巻は、「神戸新聞」「朝日新聞」ほか新聞連載と掌編小説を収録。		

展 示 の ご 案 内	
<p>■ 1 / 2 8 (土) ~ 2 / 2 3 (木) ■</p> <p>中学生が読む「絵本」展 (本館1階)</p> <p>図書館で体験実習した中学生に、絵本の紹介をしております。小学校中学年から中学生が楽しめる絵本です。もちろん大人の方にもオススメです。</p>	<p>■ 2 / 2 5 (土) ~ 3 / 3 0 (木) ■</p> <p>鉄道の本展 (本館1階)</p> <p>1987年4月に、国鉄からJRに事業が継承されました。発足30年を記念して、鉄道の本を展示します。鉄道の歴史や路線図、図鑑、駅や鉄道員のこと、また鉄道がテーマの小説や絵本など、様々な本があります。</p>

紙 芝 居 舞 台 の 寄 贈	
<p>1月20日、可児工業高校建設工学科3年生5名が、「課題研究」の一環として、紙芝居舞台を製作し可児市に寄贈してくださいました。</p> <p>図書館でのお話会「ちびっこかにかっ子タイム」で使いやすいように工夫されています。</p> <p>大切に使用させていただきます。ありがとうございました。</p>	

開館時間	【本館】 平日 10:00~19:00、土日祝 10:00~17:00 【分館】 全日 9:00~17:00	休館日	毎週月曜日、毎月最終金曜日 2月 6,13,20,24,27日
------	---	-----	------------------------------------

携帯用
サイト



「図書館だより」2017年2月号
 発行：可児市立図書館 編集：長谷川（本館） 電話（0574）62-5120
 資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。